

## 第三者評価結果入力シート（乳児院）

種別	乳児院
----	-----

### ①第三者評価機関名

株式会社シーサポート
------------

### ②施設名等

名称：	つぼみ
施設長氏名：	久保田悦子
定員：	20名
所在地(都道府県)：	埼玉県

### ③理念・基本方針

<p>(1) 理念</p> <ul style="list-style-type: none"><li>子どもたちをかけがえのないものとして守り育て、安心安全な生活を保障するとともに、子どもたちの最善の利益を守る。</li><li>大切な子どもたち一人ひとりの幸せと、健やかな成長を支援し、より家庭的な養育を行う。</li><li>地域の子育て支援や社会貢献に努め、誰でも利用できる施設を目指す。</li></ul> <p>(2) 基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"><li>命の尊さを感じ、自分を大切に、他人を思いやることのできる心豊かな子どもに育てる。</li><li>子どもたちをかけがえのない存在としてその権利を保障し、より家庭的な環境の中で、愛情に支えられていると実感できる支援に努める。</li><li>保護者と相互理解を深め、より良い関係を築き、協働して子どもの健全な成長と自立を支援する。</li><li>社会的養護の担い手として、地域社会と共生し、より良い施設づくりを目指す。</li><li>防災と危機管理に努め、安心安全な環境を整える。</li><li>倫理観の確立や子どもの権利擁護を目指した職員の育成に努める。</li></ul>
---

### ④施設の特徴的な取組

<ul style="list-style-type: none"><li>「養育会議」 月1回、ユニット職員とキッチン職員が集まり、子どもたちの養育についての協議や各職員からの研修報告を行い、養育の質の向上に努めている。</li><li>「行事・行事食」 子どもたちが四季や伝統文化を感じられるよう、月1回、行事の開催や行事食の提供をしている。</li><li>「里親子カフェ」「個別相談」 里親子が集まり、里親同士でおしゃべりしながらリフレッシュしたり、子育ての悩みを職員に相談したりできる場をつくっている。カフェの時間は職員が里子の保育を担当し、里親がリラックスできるよう配慮している。</li></ul>
--

### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間（ア）契約日（開始日）	2022/5/23	
評価実施期間（イ）評価結果確定日	2022/10/6	
前回の受審時期（評価結果確定年度）	なし	

## ⑥総評

### ◇特に評価の高い点

①施設が一体となった養育支援と愛着形成への注力がなされています

施設内のラウンドを通して子どもたちおよび職員の状態を確認しており、管理職・専門職がユニットでの支援に参加することで一体的な運営を実現しています。小規模グループケア・ユニット制・子ども一人ひとりへの担当職員配置等々により子どもたちが満足できる環境形成がなされています。

②細かな確認、背景を見据えた対応等を衛生・安全の向上につなげています

ユニット会議、養育会議での討議・分析、毎月の処遇計画により発達・発育・子どもの状況の確認を経て養育支援が実施されています。細かな項目による確認、食事・睡眠・表情等子どもたちの状況の観察、子どもたちが表す行動の背景を見据えた対応などにより衛生・安全の向上につなげています。

③地域貢献とニーズに応える取り組みがなされています

近隣市複数とのショートステイ契約締結、里親サロンの実施等有する専門性を活かした取り組みおよび地域との協働した防災訓練がなされています。また一時保護の受け入れなど積極的な協力がなされており、今後も機能の拡充により乳幼児総合支援センターを目指していくことを表明しています。

### ◇抽出された目標と課題

開設から3年目が経過する中、人材確保・育成、コロナ禍における外部研修受講を課題として認識しています。本評価を通じては下記の課題と目標を抽出しており、法人との協調により取り組んでいくことが期待されます。

- ・現場の状況を積み重ねたマニュアルの改訂、実習生指導マニュアルの作成
- ・職員同士が注意しあえる相互関係構築、アンガーマネジメントの実践
- ・動画等を活用し、見本となる職員の支援方法観察
- ・他施設との交換・交流研修の実現
- ・ホームページの充足による地域への発信力強化
- ・リフレッシュのための職員長期休暇取得
- ・保護者からの感謝を職員のモチベーションや糧につなげる方策
- ・法人内高齢者施設利用者との触れ合い、社会資源における一般家庭児との交流

## ⑦第三者評価結果に対する施設のコメント

このたびの第三者評価受審で職員へのアンケートを実施したことで、運営の仕方や子どもの養育に対する職員の考えを確認することができ、これまでの取組を振り返る良いきっかけとなりました。今後は、乳幼児総合支援センター化、児童福祉法改正を念頭に置きつつも、日々の業務に丁寧に取り組み、施設にあった運営方法を築くよう努めていきます。

## ⑨第三者評価結果（別紙）

## 第三者評価結果（乳児院）

### 共通評価基準（45項目） I 養育・支援の基本方針と組織

#### 1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第三者 評価結果
① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b
【判断した理由・特記事項等】	
ホームページ・パンフレットにより理念・方針を発信している。特にパンフレットは日課、行事、室内図、館内の写真により生活や支援をイメージできる内容となっている。開設より3年が経過しようとする中、方針の浸透、支援の向上に取り組んでいる。	

#### 2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	第三者 評価結果
① 2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
【判断した理由・特記事項等】	
県内乳児院の連絡協議会・研修会を通して情報の収集・動向把握にあたっている。乳幼児総合支援センターを目指し、取り巻く環境を意識した運営・養育支援を目標としている。	
② 3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a
【判断した理由・特記事項等】	
人材確保・育成、コロナ禍における外部研修受講を課題として認識している。法人とは運営層における定期での会議が開催されており、協力体制の構築、安定した運営を目指し取り組んでいる。	

### 3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者 評価結果
①	4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	c
【判断した理由・特記事項等】 小規模グループケアの確立、家庭的養育の実践を経て乳幼児総合支援センターとしての機能装備を目指している。取り巻く環境を意識し、単年度の事業計画立案により目指す運営・養育支援を掲げている。また具体的養育については現在の0歳児を別ユニットとしている体制から完全縦割りのユニット制についても検討対象としている。		
②	5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
【判断した理由・特記事項等】 基本方針、養育目標、虐待防止策、職員育成、安全・保健等網羅された事業計画が策定されており、行事および実習生・ボランティア受け入れ等についても盛り込まれている。開設より3年が経過しようとする中で、ユニットの自治の確立、法人内の連携強化等々の目標も携えている。		
(2) 事業計画が適切に策定されている。		
①	6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
【判断した理由・特記事項等】 毎月の職員会議、法人との協議において運営方針等を決定している。職員とは面談を通して目標の設定や振り返りがなされており、職員個々、ユニット、事業所全体がそれぞれの使命と目標達成への意識をもって業務にあたっている。		
②	7 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b
【判断した理由・特記事項等】 パンフレットの作成と配布、ホームページでの情報発信および面会時の説明を通して保護者等への理念・方針の周知に努めている。また児童相談所等関係機関や里親に対しても事業所の方針や養育支援内容を理解してもらえるよう連携・報告に努めている。保護者からの感謝の言葉や協力は職員のモチベーションや糧となっている。		

### 4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		第三者 評価結果
①	8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a

【判断した理由・特記事項等】	
<p>養育マニュアルは各支援に対してチェックする方式となっており、職員の資質を図る指標となっている。リーダー会議、養育会議を通して施設全体の支援を考察し、分析に取り組んでいる。またユニットの自治醸成を目指しており、ユニット独自の支援確立、意見集約を目標としている。</p>	
②	9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。
【判断した理由・特記事項等】	
<p>定期でのユニット会議の開催により支援内容、自立支援計画の進捗等の確認を進めている。また職員個々の目標についても面談や細かな目標設定により管理しており、将来および次期につなげる運営がなされている。会議の開催および内容の向上を改善目標としている。</p>	

## II 施設の運営管理

### 1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。		第三者 評価結果
①	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<p>災害時の体制については消防計画の立案により明確化がなされており、平時についても職務分掌を作成している。管理職、専門職が運営およびユニットの支援にも入るなど全体を把握しながら施設を牽引している。</p>		
②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<p>就業規則および個人情報保護、経理等諸規程を整備し、法令の遵守と理解に取り組んでいる。これまでに情報の開示等の請求・依頼はないが、今後はこれらを含めた記録の整備について更に進める・指導していく意向をもっている。</p>		
(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。		
①	12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a
【判断した理由・特記事項等】		
<p>各種会議への出席、書類のチェック等を通して養育支援状況の把握と確認に取り組んでいる。職員意見箱や面談からの意見集約を運営に反映するよう努めている。</p>		
②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a

【判断した理由・特記事項等】

施設内のラウンドを通して子どもたちおよび職員の状態を確認しており、管理職・専門職がユニットでの支援に参加することで一体的な運営を実現している。報告・連絡・相談の徹底、タイムラグのない情報管理により更に効率的な支援と運営を目指している。

## 2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者 評価結果
①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
【判断した理由・特記事項等】		
基幹的職員、家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員を配置し、子どもたちの養育支援に対して適切な体制確保に努めている。限られた資源のなかで看護師の確保にあっており、今後も保育士資格保持者の安定採用に努めていく意向をもっている。		
②	15 総合的な人事管理が行われている。	b
【判断した理由・特記事項等】		
管理職による面談を通して目標管理がなされており、細かな項目による確認と目標設定がなされている。またマニュアルにより各業務のチェックがなされており、一定の業務定着の指標としている。10、15年後の自身のキャリアを描くことでモチベーション向上が図れる職務体制構築を目指している。		
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
【判断した理由・特記事項等】		
年次有給休暇の取得、時間外労働については帳簿をもって記録し、就業状況の確認がなされている。職員用意見箱や相談窓口の設置を通して職員の考えを把握し、運営に活かすよう努めている。また職員のリフレッシュのため、長期休暇創設についても検討対象としている。		
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
職員一人ひとりに対して管理職による面談を定期で開催しており、職員の目標設定がなされている。設定に対しては細かな項目が記されたシートを使用しており、職員の振り返りを促すことができる仕組みとなっている。保護者等からの感謝や協力を伝え、業務の糧にしていく方法を検討・模索している。		
②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
【判断した理由・特記事項等】		
研修体系と題された職種別の受講予定研修が策定されている。新型コロナウイルスの影響により計画通りに進まないこともあり、職員の資質向上と研鑽を重要課題として認識している。終息をまって他施設への交流研修を実施し、職員の視野を広げていくことを目標としている。		

③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
チェック方式による養育マニュアルが設定されており、一定水準の業務履行の可否を判断している。新型コロナウイルスの影響を受けながらもリモートおよび動画研修の取り入れ、スーパーバイザーや専門家を招いての講義など対応に取り組んでいる。		
(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
①	20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
【判断した理由・特記事項等】		
新型コロナウイルスの影響を受けつつ限られた環境の中、実習生の受け入れに努めている。養成校との連絡により実習の効果・成果がだせるよう取り組んでいる。今後はより多くの職員が関わりながら刺激を受けられるようマニュアルの策定を予定している。		

### 3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		第三者 評価結果
①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
【判断した理由・特記事項等】		
法人内ホームページにより行事や寄付等を紹介している。またパンフレットは施設案内図、館内の写真など養育支援の環境を理解できる内容となっている。更なる広報ツールの充実により職員・ボランティア等の募集や地域への発信につなげていく意向をもっている。		
②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b
【判断した理由・特記事項等】		
経理規程が設定されており、取り引き等の規定が整備されている。法人・外部の専門家の指導等により適切な運営となるよう取り組んでいる。		

### 4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者 評価結果
①	23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
事業計画において実習生・ボランティアの受け入れについて謳い、地域との共生を表明している。地域交流スペースを有しており、新型コロナウイルス終息の状況を踏まえながら里親および地域の子育て世代への支援を進めていく意向をもっている。		
②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
【判断した理由・特記事項等】		
事業計画においてボランティアの受け入れの推進を謳っている。開設より新型コロナウイルス禍にあるため、思うような活動実施とはなっておらず、終息状況を見ながら進めていく意向をもっている。		

(2) 関係機関との連携が確保されている。

① 25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b
---	---

【判断した理由・特記事項等】

公園、商店等々の社会資源を活用し、子どもたちが社会経験を積んでいけるよう個別支援計画へ盛り込みながら支援にあたっている。医療機関、児童相談所と連携し、適切な養育支援の実践に取り組んでいる。

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

① 26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a
----------------------------------	---

【判断した理由・特記事項等】

近隣市複数とショートステイの契約を締結するなど地域のニーズに応える取り組みおよび地域への貢献に努めている。里親サロンを実施しており、新型コロナウイルスの終息後には更に拡充を図る意向をもっている。

② 27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a
--------------------------------------	---

【判断した理由・特記事項等】

里親サロンの実施等有する専門性を活かした取り組みおよび地域との協働した防災訓練がなされている。一時保護の受け入れなど積極的な協力がなされており、今後も機能の拡充により乳幼児総合支援センターを目指していくことを表明している。

### Ⅲ 適切な養育・支援の実施

#### 1 子ども本位の養育・支援

(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。

第三者  
評価結果

① 28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	b
---	---

【判断した理由・特記事項等】

養育支援マニュアルの設置と実施、倫理綱領・チェックリストの配布、外部講師を招いての講義等々子どもたちの権利尊重への取り組みがなされている。

② 29 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	a
-------------------------------------	---

【判断した理由・特記事項等】

個人情報保護規程の設置と遵守、着替え・入浴・排せつ場面において子どもたちの羞恥心への考慮などプライバシーの保護に留意している。成長にあわせ、プライベートゾーンやジェンダーレスを意識した支援に努めている。



(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

①	30 保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a
---	---------------------------------------	---

【判断した理由・特記事項等】

保護者への説明資料としてパンフレット、面会時の留意等が用意されており、説明にあっている。また入所時に一度に情報提供ができないケースも面会等を重ねながら施設の支援方針を理解してもらえるよう努めている。

②	31 養育・支援の開始・過程において保護者等にわかりやすく説明している。	a
---	--------------------------------------	---

【判断した理由・特記事項等】

宗教、食事等必要な事項については尊重し、同意を得て支援を進めている。また写真の撮影、他児との共同生活であること等も説明し、理解を得られるよう努めている。話し合いについても職員を限定するなどプライバシーへの配慮にもあっている。

③	32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a
---	--	---

【判断した理由・特記事項等】

退所にあたっては、移行先に対して記録の提供、相談への対応等により継続性を保てるよう努めている。また法人内に児童養護施設を有していることから、子どもおよび家庭に配慮した養育支援環境提供にあっている。

(3) 子どもの満足の向上に努めている。

①	33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
---	-------------------------------------	---

【判断した理由・特記事項等】

子ども一人ひとりへの担当職員配置、ユニットケアによる愛着形成等々により子どもたちが満足できる環境形成に努めている。ユニット会議、養育会議での討議・分析、毎月の処遇計画により発達・発育・子どもの状況の確認を経て養育支援が実施されている。

(4) 保護者等が意見等を述べやすい体制が確保されている。

①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
---	-------------------------------	---

【判断した理由・特記事項等】

苦情解決第三者委員、苦情受付担当者、苦情解決責任者を選任し、掲示等により周知している。児童相談所等関係機関と連携し、保護者が安心できるよう説明に努めている。

②	35 保護者等が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a
---	--	---

【判断した理由・特記事項等】

面会届には相談を記載できる欄を設けるなど保護者が意見を言いやすい工夫がなされている。施設内に専用の面会・相談スペースを有しており、職員の限定等プライバシーへの配慮にも留意している。

③	36 保護者等からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
---	-------------------------------------	---

【判断した理由・特記事項等】

家庭支援専門相談員、管理職を中心に意見聴取や相談への傾聴に努めている。新型コロナウイルス蔓延防止にあたり、保護者や子どもたちへのストレス緩和に努め、寄り添う支援に取り組んでいる。

(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。

①	37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
---	---	---

【判断した理由・特記事項等】

工夫したヒヤリハット書式の設定、養育会議での分析等により事故予防に対する職員への注意喚起に努めている。また養育マニュアルのチェック項目により安全・確認の浸透に取り組んでいる。食事・睡眠・遊び等子どもたちの状況を観察し、子どもたちが表す行動の背景を見据えながら安全の確保にあたっている。

②	38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
---	---	---

【判断した理由・特記事項等】

感染症マニュアルの設定、手洗い、検温、血中酸素飽和濃度等の確認により感染症蔓延防止にあたっている。新生児等の部屋にはビニールカーテンを設置するなど月齢・年齢にあわせた対応にあたっている。新型コロナウイルスだけでなく感染症全般への対応を見据えており、職員からのレポート提出を踏まえたマニュアル改訂を予定している。

③	39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a
---	-------------------------------------	---

【判断した理由・特記事項等】

緊急事態における事業継続、危機管理に対するマニュアルが整備されている。備蓄の整備、夜間想定を中心とした避難訓練実施、水害時対応等々により万一の事態に備えている。

## 2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		第三者 評価結果
①	40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	a
【判断した理由・特記事項等】 確認チェックを含んだ養育マニュアルが作成されており、業務の標準化がなされている。また就業規則をはじめとした諸規程の設置、各種様式の整備等もあわせてなされている。生活の場として安全と主体性、標準化と多様性など考慮と判断が求められており、職員の成長と共にマニュアル等も進化させていく意向をもっている。		
②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
【判断した理由・特記事項等】 ユニット会議等の検討を踏まえて施設全体の養育、養育マニュアルの見直しに取り組んでいる。感染対策については職員からのレポート提出を踏まえ改訂を予定している。		
(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。		
①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	a
【判断した理由・特記事項等】 入所時より担当職員およびユニットでの検討と分析によりアセスメントおよび自立支援計画の策定がなされている。担当職員による偏った見方を防ぐため、ユニット・養育の両会議にてチェックする仕組みが構築されている。次期につなげる、退所後を見据えることを意識し、検証の積み重ねに努めている。		
②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】 毎月、「処遇計画作成」と題したモニタリングがなされており、子どもたち一人ひとりの発達と発育が確認されている。環境変化等に伴う随時および定期での自立支援計画見直しがなされており、職員間の共有により統一した認識が持てるよう努めている。		
(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。		
①	44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
【判断した理由・特記事項等】 健康、体調、生活の記録と共有により支援が実施されている。またこれらは毎月の処遇計画にまとめられ、細かな項目による考察を経て子どもたち一人ひとりの発達と発育の確認がなされている。過去の事実だけでなく、養育支援の方針を打ち出し、子どもの全体像が見えてくるようポイント等の指導に努めている。		
②	45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
【判断した理由・特記事項等】 個人情報を含む子ども・家庭の情報は鍵付きの書庫にて保管にあたっている。またデータについてはサーバーにて管理し、持ち出すことができない端末設定となっている。入職時にはじまり、情報保守の重要性について研修等にて指導に努めている。		

内容評価基準（22項目）

A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 子どもの権利擁護	第三者 評価結果
① A1 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	b
【判断した理由・特記事項等】	
マニュアルや倫理綱領の配布を通して権利擁護の重要性を指導している。管理職・専門職のユニットラウンドを通して日々の支援状況を確認し、適切な養育支援が行われるよう取り組んでいる。	
(2) 被措置児童等虐待の防止等	
① A2 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	b
【判断した理由・特記事項等】	
管理職・専門職の施設内ラウンド、事例検討集の配布等により不適切なかかわりの防止と早期発見に努めている。職員が互いに養育支援の状況を言い合える関係性を構築することを目標としている。	

A-2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本	第三者 評価結果
① A3 子どものこころによりそいながら、子どもとの愛着関係を育んでいる。	a
【判断した理由・特記事項等】	
小規模養育およびユニット制を敷いており、子どもとの愛着形成を最優先して支援方法を選択している。特に担当職員による個別養育時間を設けることを意識しており、誕生日の取り組み等にも注力している。今後はアンガーマネジメント受講や声掛け方法の見直しなどに取り組む意向をもっている。	
② A4 子どもの生活体験に配慮し、子どもの発達を支援する環境を整えている。	a
【判断した理由・特記事項等】	
多くの収納スペースを有しており、衣類・玩具等の個別化と管理がなされている。また施設内外に思いいきり遊べる恵まれた環境があり、活用に取り組んでいる。子どもたちに多くの社会経験を積んでもらえることを重視しており、公園等で地域の子どもとふれあう機会を設けていくことを目標としている。	
(2) 食生活	
① A5 乳幼児に対して適切な授乳を行っている。	a

【判断した理由・特記事項等】	
授乳に対しては自律を意識し、子どもたち一人ひとりの状況にあわせて量や時間の工夫、愛着形成に努めている。ユニットでの調乳等子どもたちの安心感を優先し、信頼関係のもと安心した授乳がおこなわれるよう取り組んでいる。	
②	A6 離乳食を進めるに際して十分な配慮を行っている。 a
【判断した理由・特記事項等】	
栄養士・調理師等調理担当職員がユニットにラウンドし、食事・発達状況の把握に努めている。子どもたち一人ひとりのペースを大切に、支援に取り組んでいる。	
③	A7 食事がおいしく楽しく食べられるよう工夫している。 a
【判断した理由・特記事項等】	
コロナ禍にあっても楽しい食事に努め、子どもたちの嗜好確認、食材の大きさや味の配慮、間隔の考慮等に取り組んでいる。好き嫌いについても子ども同士の刺激や一口だけでも食べる工夫にあたっている。食事数の確認については更に留意していく意向をもっている。	
④	A8 栄養管理に十分な注意を払っている。 a
【判断した理由・特記事項等】	
栄養、メニューのバランス、食物アレルギーを考慮し、献立の作成にあたっている。行事食など季節感に配慮し、食育を意識するよう栽培・収穫などに取り組んでいる。調理担当職員との関わり、参加型の調理体験等工夫に努めている。	
(3) 日常生活等の支援	
①	A9 気候や場面、発達に応じた清潔な衣類を用意し、適切な衣類管理を行っている。 a
【判断した理由・特記事項等】	
担当職員により衣類が管理されており、季節、成長にあわせて適切な選択となるよう準備している。子どもたちの衣服への興味、急な入所への対応、個別化、トラブル防止、整理整頓等々にも配慮しており、本施設の細やかさが表れている。	
②	A10 乳幼児が快適に十分な睡眠をとれるよう取り組んでいる。 a
【判断した理由・特記事項等】	
食事、遊びとともに子どもたちへの成長にとって睡眠への支援を重視している。ペビーセンスの使用、定間隔のチェック、温度・室温の管理により適切な睡眠となるよう取り組んでいる。また寝具についても衛生が保持される素材を選ぶなど配慮がなされている。	

<p>③ A11 快適な入浴・沐浴ができるようにしている。</p>	a
<p>【判断した理由・特記事項等】 職員、子どもと一対一での入浴実施により愛着形成を図るよう努めている。入浴・沐浴については養育マニュアルに定め、安全な実施となるよう努めている。</p>	
<p>④ A12 乳幼児が排泄への意識を持てるように工夫している。</p>	a
<p>【判断した理由・特記事項等】 毎月、子どもたち一人ひとりについてまとめる処遇計画において発達を確認し、一人ひとりのタイミングを大事にしながらトイレトレーニングを進めている。職員があせることのないよう、自然かつ本人の意思を尊重しており、ゆったりとした雰囲気となるよう支援に取り組んでいる。</p>	
<p>⑤ A13 発達段階に応じて乳幼児が楽しく遊べるように工夫している。</p>	a
<p>【判断した理由・特記事項等】 月齢・年齢にあわせた活動ができるよう玩具や遊びの提供に努め、雨天時も恵まれた環境を活かしてのびのびと遊びができるよう取り組んでいる。社会経験を積むことを大切に捉え、買い物などに社会資源での体験ができるよう取り組んでいる。遊びの展開や子どもたちの力を引き出す養育支援を職員に求めており、動画での撮影等により見本となる職員のやり方を学ぶなどの取り組みを思案している。</p>	
<p>(4) 健康</p>	
<p>① A14 一人ひとりの乳幼児の健康を管理し、異常がある場合には適切に対応している。</p>	a
<p>【判断した理由・特記事項等】 健康診断、嘱託医による診察を通して子どもたちの健康管理にあたっている。看護職員が支援を共にし、日常的な記録を職員間で共有し、子どもたちの衛生・健康の保持に取り組んでいる。服薬管理についてはマニュアルに定め、適切な投薬となるよう仕組みを整備している。</p>	
<p>② A15 病・虚弱児等の健康管理について、日常生活上で適切な対応策をとっている。</p>	a
<p>【判断した理由・特記事項等】 体調についてはデジタルデータにて管理しており、看護担当職員および全職員の確認により健康管理にあたっている。また処遇記録の確認をはじめ、発達の経過を見ながら子どもたち一人ひとりの健康管理に取り組んでいる。現在配慮の必要な子どもの在籍はないものの、研修等への参加を通して研鑽を図る意向をもっている。</p>	
<p>(5) 心理的ケア</p>	
<p>① A16 乳幼児と保護者等に必要な心理的支援を行っている。</p>	b
<p>【判断した理由・特記事項等】 法人内に心理士が在籍しており、必要の都度相談、助言を受けられる環境となっている。ケース会議への参加を通して専門的知見からのアドバイスをもらい、接し方や対応等支援に役立てるよう努めている。</p>	

(6) 親子関係の再構築支援等

① A17 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。

a

【判断した理由・特記事項等】

家庭支援専門相談員を中心に家庭との連絡をとり、信頼関係の構築、施設への理解が深まるよう取り組んでいる。家庭の状況を考慮しながら・児童相談所等関係機関と連携をしながら面会時等を中心に支援にあたっている。

② A18 親子関係再構築等のため、家族への支援に積極的に取り組んでいる。

a

【判断した理由・特記事項等】

親子訓練室を有しており、状況をみながら面会等支援を実施し、家庭復帰を目指した支援に努めている。児童相談所と連携し、情報を共有しながら養育意欲の向上に取り組んでいる。

(7) 養育・支援の継続性とアフターケア

① A19 退所後、子どもが安定した生活を送ることができるよう取り組んでいる。

a

【判断した理由・特記事項等】

退所後は家庭支援専門相談員が窓口となり、相談や訪問などの対応により接続へのサポートを実施している。措置変更先との連絡、法人内児童養護施設との連携など子どもたちの不安や心配をなるべく取り除けるよう支援に努めている。

(8) 継続的な里親支援の体制整備

① A20 継続的な里親支援の体制を整備している。

b

【判断した理由・特記事項等】

里親支援専門相談員を配置しており、児童相談所と共に里親委託の推進に取り組んでいる。里親サロンの開催を通して相談等に応じるなど地域貢献がなされている。

(9) 一時保護委託への対応

① A21 一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている。

a

【判断した理由・特記事項等】

アレルギー、既往等確認すべき事項を定め、安全に一時保護できるよう体制の整備に努めている。保護後は観察・アセスメントを実施し、情報を把握・精査し、児童相談所等への情報提供にあたっている。

② A22 緊急一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている。

a

【判断した理由・特記事項等】

職員の勤務変更等により緊急一時保護に対応し、受け入れがなされている。PCR・抗原検査の実施、隔離など感染症に配慮した受け入れがなされている。